

(4) 学校教育学部

① 入学者選抜

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

入学試験委員会を15回開催した。また、学部入学者選抜に関して4つの専門部会を合計12回開催した。

このほか、入学者選抜方法検討ワーキンググループ（学部・大学院共通）を8回開催した。

ii) 審議された主な事項

学部入学者選抜方法の概要の策定、学校推薦型選抜・一般選抜等の実施計画の策定・実施、学生募集要項等の作成、合否判定基準・合否案の作成、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う感染症対策の変更、大学入学共通テストの実施、令和7年度入学者選抜方法の概要及び令和8年度学部入学者選抜方法について審議した。

また、入学者選抜方法研究専門部会において、入学者選抜に関する追跡調査、入試改革前後の比較・分析した結果を、「令和5年度入学試験委員会入学者選抜方法研究専門部会報告書」として取りまとめ、学内に公表した。

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う対応

新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行したことに伴い、同感染症に特化した感染症対策は講じる必要がなくなったものの、入学者選抜試験における感染症対策として、体調管理や試験室等の換気等について学生募集要項、受験者心得で周知した。

また、令和6年元日に発生した「令和6年能登半島地震」に伴い、大学入学共通テストにおける不測の事態における措置として、「本学試験会場における感染予防策及び受験者の皆様へのお願い」を10月に公表し、さらに本学で地震が発生した場合の対応を拡充し、学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程、後期日程）においても適用した。

○ 入学者選抜方法の妥当性及び信頼性の検証

入学者選抜方法研究専門部会において、平成26年度から平成31年度にかけて入学し、平成29年度から令和4年度にかけて卒業した学生を対象として、推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）の各入試による入学者間の学内成績の比較や教員採用試験の受験状況（教員採用試験の合否状況を含む。）と入試成績との関連を検討した結果を示した。

また、推薦入試及び一般入試（前期日程）については、平成31年度入学者選抜から入試方法を変更しており、この入試制度改革により入学者の学力に差異が認められるか検討するため、平成31年度入学者と平成30年度入学者の4年次の科目成績について比較・分析した。

あわせて、一般入試（前期日程）については、令和3年度入試において新型コロナウイルス感染症の影響により入試方法を変更した（面接・実技試験を実施しない）ことから、令和2年入学者（通常の入試方法により入学）と令和3年度入学者（変更した入試方法により入学）の2年次の科目成績についても比較・分析した。

○ 大学入学共通テスト実施に向けた取組

大学入学共通テストでは、試験実施上のミスやトラブルは再試験など受験者に多大な影響を

与えることから、大学入試センター及び上越市内の関係機関等との連携・協力を密にし、円滑な実施に向けた取組を行った。

具体的には、令和6年度大学入学共通テスト監督業務等に関わる全ての教職員に対する説明会において周知徹底と欠席者に対する個別説明の実施及びリスニング試験における演習の実施並びに学内連絡体制や実施マニュアルの再点検、整備等を行った。

さらに、前述のとおり、令和6年元日に発生した「令和6年能登半島地震」に伴い、大学入学共通テストにおける不測の事態における措置として、本学で地震が発生した場合の対応を拡充し、危機管理に備えることとした。

○ 大規模災害で被災した受験者への特別措置

大規模災害で被災した志願者の進学機会を確保する観点から、東日本大震災等は前年度に引き続き、令和6年元日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災者は今年度新たに、当該志願者の入学試験に係る検定料を全額免除とする特別措置を実施した。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

大学入学共通テスト及び個別入試において、ミスのない正確な入試を実施するために全学的な連携体制の下で万全を期した結果、無事に実施することができた。

また、令和8年度以降の学部入学者選抜方法として、新潟次世代教員養成プログラムの前期プログラム受講者（修了者）を対象とする総合型選抜（Ⅰ型）、特定の教科に強みを持つ教員を目指す学生を対象とする選抜を総合型選抜（Ⅱ型）の新設、一般選抜（前期日程）の選抜方法の見直しを決定し、予告・公表した。あわせて、令和8年度以降の入学者にかかるアドミッション・ポリシーを改正することとした。

なお、学部入試においても志願者数が右肩下がりの傾向にあることから、大学院入試と同様に定員充足に向けた志願者数の増加のための取組を、積極的かつ効果的に行っていく必要がある。